

経営比較分析表（令和6年度決算）

宮崎県西臼杵広域行政事務組合 高千穂町国民健康保険病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	その他
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	9	-	ド透訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	9,604	第2種該当	-	10：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

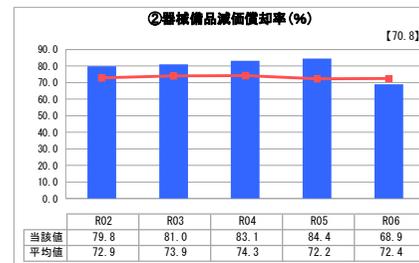
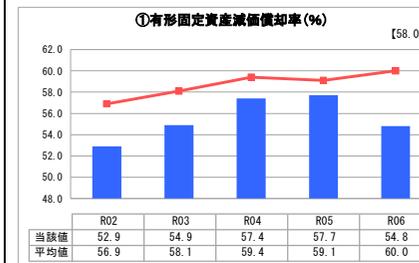
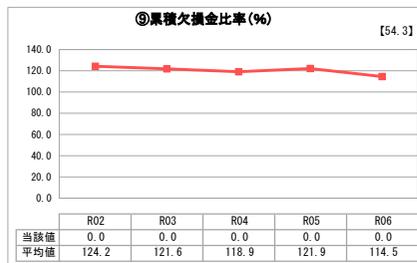
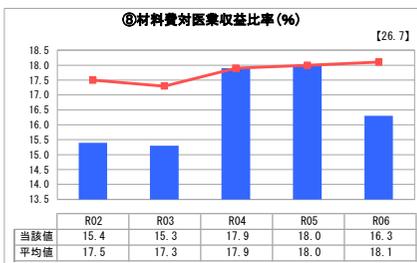
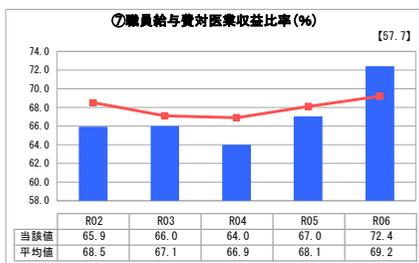
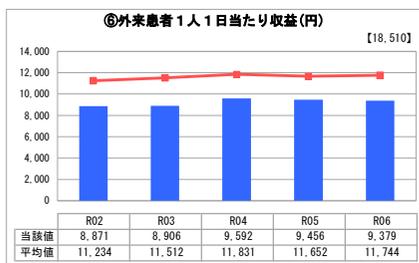
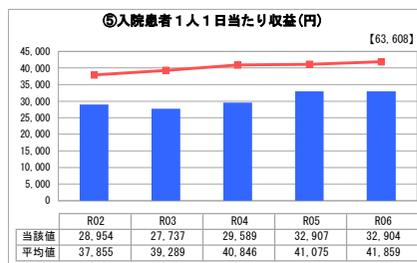
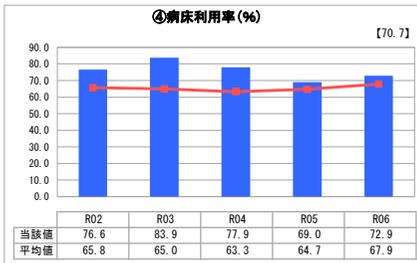
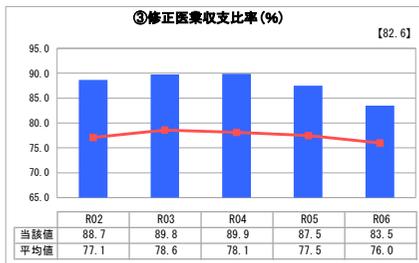
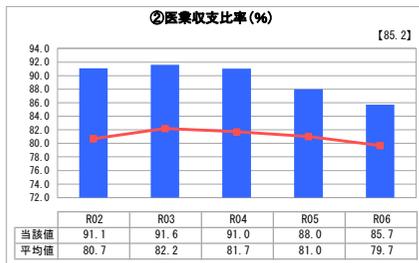
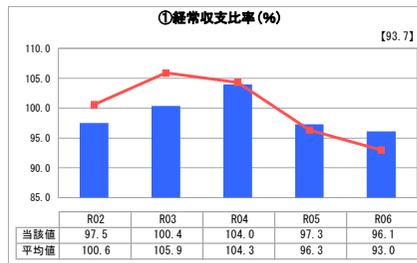
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
120	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	120
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
102	-	102

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）

【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の病院・ネットワークを基盤)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
令和6年度	-	-

I 地域において担っている役割

本院は、二次救急病院として高千穂町はもとより西臼杵の中核病院として役割を担ってきた。
令和6年度より、西臼杵郡内の3町（高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町）の公立病院が組織統合再編を行い、一部事務組合の運営による病院事業を開始した。組織改編に当たり、各病院の機能分化を計り、本院は急性期患者を主体的に受け入れる役割を担っている。
また救急患者の受入れについて、西臼杵消防署と連携を図り、消防署員の病院実習受け入れ等を行っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営の健全性について、経常収支比率、医療収支比率および修正医療収支比率はすべての数値において類似病院および全国平均を上回っているものの、年々下がる傾向にある。
当院における病床利用率については実績値72.9%と類似病院および前項平均値を上回っているが、入院患者1人1日当たりの収益については下回っている。外来患者1人1日当たりの収益についても同様に類似病院および全国平均値を下回っている。
職員給与対医療収益比率については類似病院および全国平均値を大きく上回っている。材料費対医療収益比率は大きく下回っている。
病床利用率の低下と外来患者数の減少により医療収益が減少している一方、給与費の増により、医療費用が大幅に増加し、結果、経常収支が悪化している。欠損金についても令和6年度決算時において未処分利益剰余金を大きく減らしたことにより、今後は発生する見込みである。

2. 老朽化の状況について

令和6年度において、MRI機器等の更新を行ったことにより、有形固定資産減価償却率および器械備品減価償却率が減少しているが、更新時期に到来している医療機器も多く、計画的に更新する必要がある。
また病院本体においても建設から25年を経過し、設備も老朽化が進んでいることから、順次更新していく必要がある。

全体総括

令和6年度においては経常収支比率が前年度を下回っているが、人事院勧告により大幅に給与費が増えていることや外来患者数の減少に伴う収益減が原因と分析している。今後においても人口減少に伴う収益減や物価高騰等に起因した費用の増加が見込まれるが、当地域の中核病院としての役割を果たすため、経営改善に向けた取組を強化する必要がある。
また医療人材の確保も喫緊の課題と捉えている。医師および看護師等の医療人材確保のため、臨床研修医や医学生、看護学生の実習受け入れ等を積極的に実施していく。

※1 類似病院平均値(平均値)については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。